



みらいもずっとみんなが輝く、みなとまちへ。



とばの地域共生社会 2.0

企画財政課企画経営室 TEL 25-1101

鳥羽市は、年間400万人が訪れる観光地として魅力がたくさんある一方で、2040年には人口が約1万人にまで減少すると予測されています。そのような状況の中でも、誰もが輝き活躍できる「地域共生社会」の実現を目指し、「稼ぐ」「つながる」「最適化」の3つを軸に取り組みを進めています。その一環として、市内外で活躍するかたへインタビューを行い、「とばびと活躍STORY」として紹介します。

地域共生社会の実現に向け取り組む3人の“とばびと”をご紹介します



旅館「扇芳閣」五代目経営者

谷口 優太さん

コロナ禍を機に経営方針を見直し、「世界中の子育て家族から最も愛される旅館」というビジョンを掲げた旅館「扇芳閣」。延べ240人以上の声をもとに子連れ旅行の課題を解決するリブランディングを実践した谷口さんに、鳥羽での持続可能な観光モデルを構築する取り組みについて伺いました。

神島診療所 所長

小泉 圭吾さん

医師が不在となる場合でも、デジタルの力と看護師のサポートにより、高齢者のかたでも安心して受診できる体制を整備。努力と工夫を重ね、へき地に医療を届け続けている小泉さんに鳥羽での持続可能な医療体制づくりへかける想いについてお話しいただきました。



結実行委員会 委員長

城山 雅美さん

「子どもがいても自分を大切にできる場所をつくりたい」という想いから美と健康をテーマにした「マルシェ結」を立ち上げた城山さん。マルシェを通じて生まれた新たなつながりが、やがて地域を支える力へと広がっていく、そんな活動の広がりや地域への想いについて伺いました。

今回のマルシェ結は
左ページをご覧ください



3人のインタビュー記事や
Vol.1、齋藤社長の
記事はこちらから



オンライン診療の活用で、
持続可能な医療体制を。



ママたちの笑顔で、家族も
まちも幸せに。



子育て家族から最も愛され
る旅館づくりを。

とばびと
活躍 STORY



ホームページ